

2023年3月期 第2四半期 決算説明

2022年10月31日 クボテック株式会社

目次

1. 2023年3月期 第2四半期 連結業績概況
2. 2023年3月期 通期 連結業績見通し

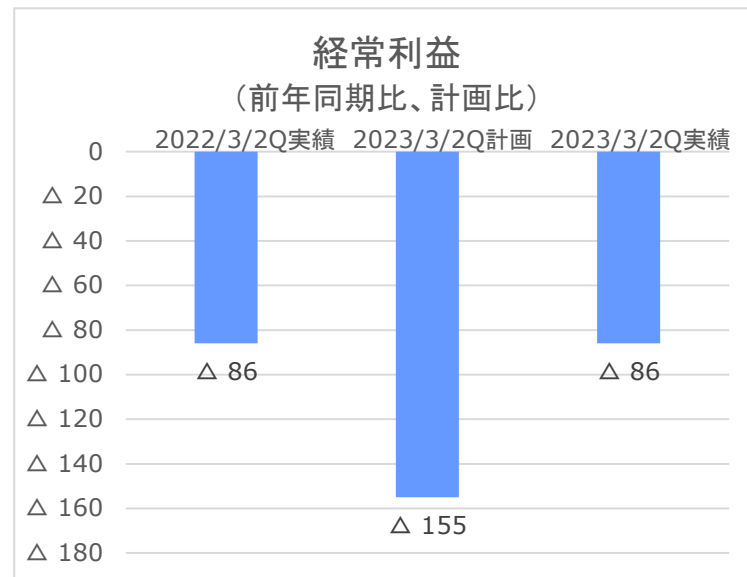
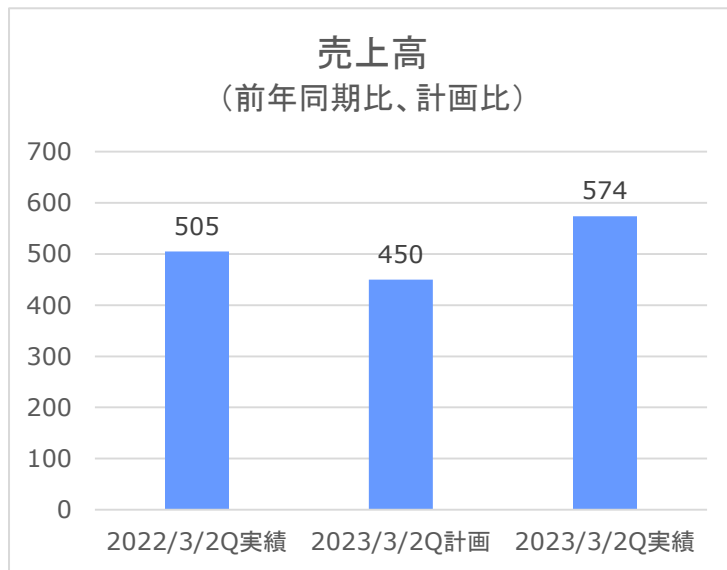
1. 2023年3月期 第2四半期 連結業績概況

2023年3月期 第2四半期 連結業績概況

◎ FPDメーカーの設備投資は慎重な動き、厳しい受注環境が続く

◎ 売上高は前年同期比増収も、損益面では経常赤字を継続

(単位: 百万円)



経営成績

- ◎売上高は前年同期比増収も客先設備投資の影響、部品需給の逼迫など回復に時間
- ◎損益は前年同期比で総利益は微増、販管費の増加、為替差益で経常損益は横這い

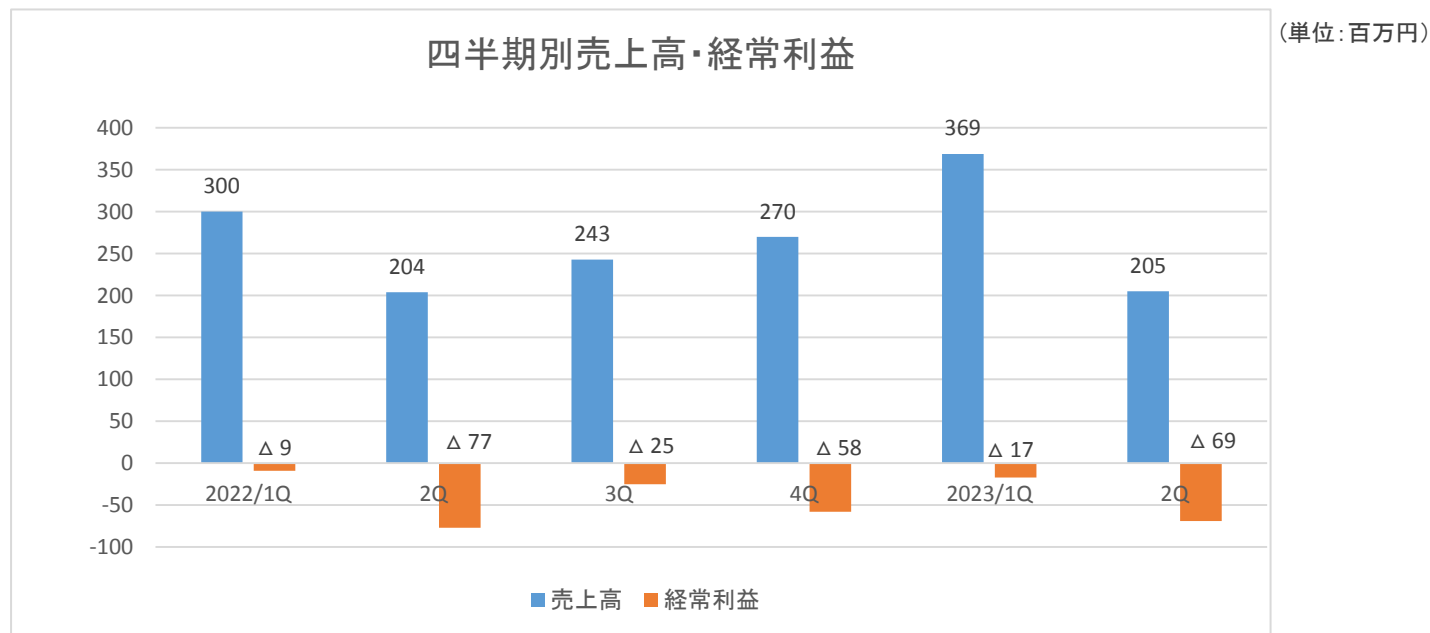
	2022/3 2Q実績 (A)	2023/3 5/13公表 2Q計画 (B)	2023/3 2Q実績 (C)
売上高	505	450	574
営業利益(△損失)	△ 84 (△16.7%)	△ 150 (△33.3%)	△ 107 (△18.8%)
経常利益(△損失)	△ 86 (△17.2%)	△ 155 (△34.4%)	△ 86 (△15.1%)
当期利益(△損失)	△ 29 (△5.8%)	△ 160 (△35.6%)	△ 92 (△16.2%)

前年同期 増減額 (C-A)	計画比 増減額 (C-B)
69	124
△ 23	43
0	69
△ 63	68

(単位:百万円)

四半期別売上高、利益推移

◎2Qにおいては、売上が伸びず経常損益は赤字が拡大

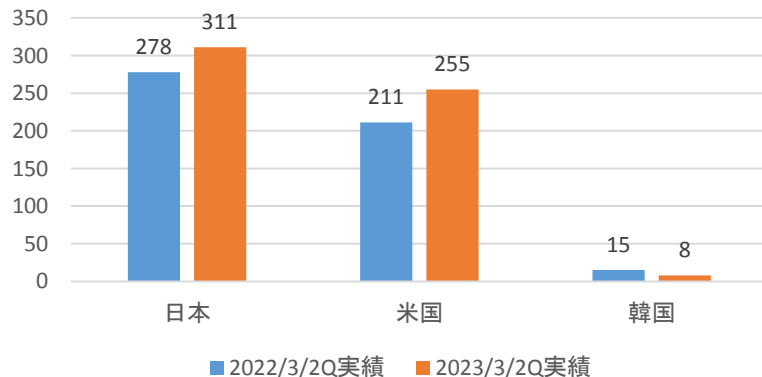


セグメント別売上高、利益

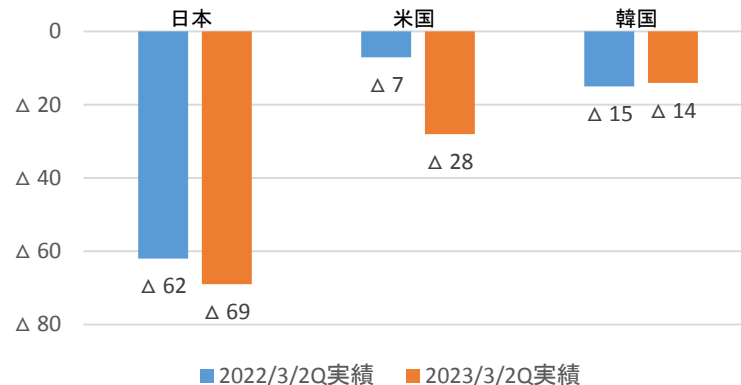
- ◎日本では、画像処理外観検査装置の売上が前年同期を若干上回り、損益は横這い
- ◎米国では、円安等の影響があるものの、新製品3次元比較検証ソフトは伸び悩み減益
- ◎韓国では、韓国大手FPDメーカー向けの画像処理外観検査装置関連、納期延期で減収

(単位: 百万円)

セグメント売上高
(前年同期比)



セグメント利益
(前年同期比)



貸借対照表

	2022/3 期末 2022年3月31日	2023/3 2Q末 2022年9月30日	前期期末比 増減額
流動資産			
現預金	1,413	1,158	△ 255
売上債権	198	176	△ 21
棚卸資産	272	300	27
その他	16	17	0
固定資産	191	216	25
資産計	2,091	1,868	△ 222
流動負債	680	685	5
固定負債	434	339	△ 95
負債計	1,115	1,025	△ 89
資本金	1,951	1,951	-
利益剰余金	△ 915	△ 1,008	△ 92
その他	△ 59	△ 99	△ 40
純資産計	976	843	△ 132
負債及び純資産合計	2,091	1,868	△ 222

(単位:百万円)

◎総資産は、
前期末に比べ、主に現預金で減少

◎負債は、
前期末に比べ借入金の返済などで減少

◎純資産は、
前期末に比べ、純損失の計上などで減少

キャッシュ・フロー計算書

- ◎営業キャッシュは、棚卸資産の増加などで、約8千万円の支出
- ◎投資キャッシュは、ソフトウェアの取得などで1億円の支出
- ◎財務キャッシュは、銀行への借入金返済の結果、1億円の支出

	2022/3 2Q実績	2023/3 2Q実績
I.営業活動によるキャッシュ・フロー	154	△ 76
II.投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 86	△ 104
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 143	△ 105
IV.現金及び現金同等物に係る換算差額	7	31
V.現金及び現金同等物の増加額	△ 68	△ 255
VI.現金及び現金同等物の期首残高	1,745	1,381
VII.現金及び現金同等物の期末残高	1,677	1,126

(単位:百万円)

2. 2023年3月期 通期 連結業績見通し

2023年3月期 通期 連結業績見通し

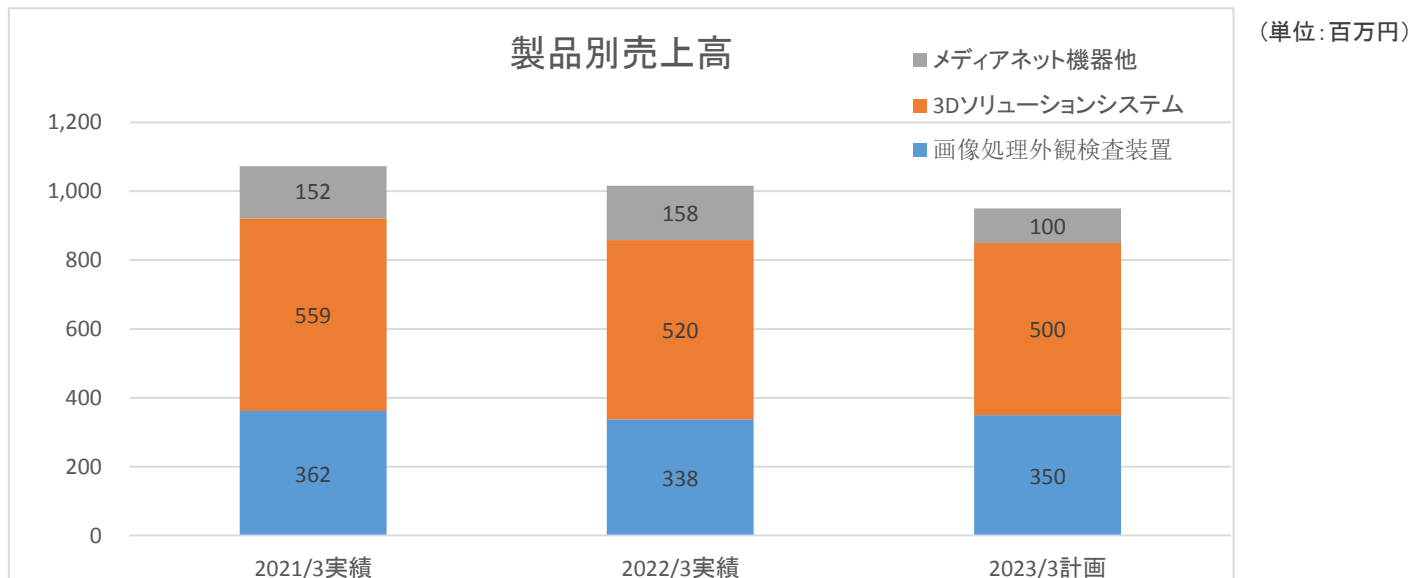
- ◎通期予想は期初予想を据え置き
- ◎感染症の収束時期や不安定な国際情勢等、先行きが不透明
前期に比べ減収減益の見通し

(単位: 百万円)

	2022/3 通期 実績 (A)	2023/3 通期 5/13公表 計画 (B)	2023/3 通期 10/31公表 計画 (C)	前期比 増減額 (C-A)	前回計画比 増減額 (C-B)
売上高	1,017	950	950	△ 67	0
営業利益(△損失)	△ 175 (△17.3%)	△ 290 (△30.5%)	△ 290 (△30.5%)	△ 115	0
経常利益(△損失)	△ 169 (△16.7%)	△ 300 (△31.6%)	△ 300 (△31.6%)	△ 131	0
当期利益(△損失)	△ 121 (△11.9%)	△ 315 (△33.2%)	△ 315 (△33.2%)	△ 194	0

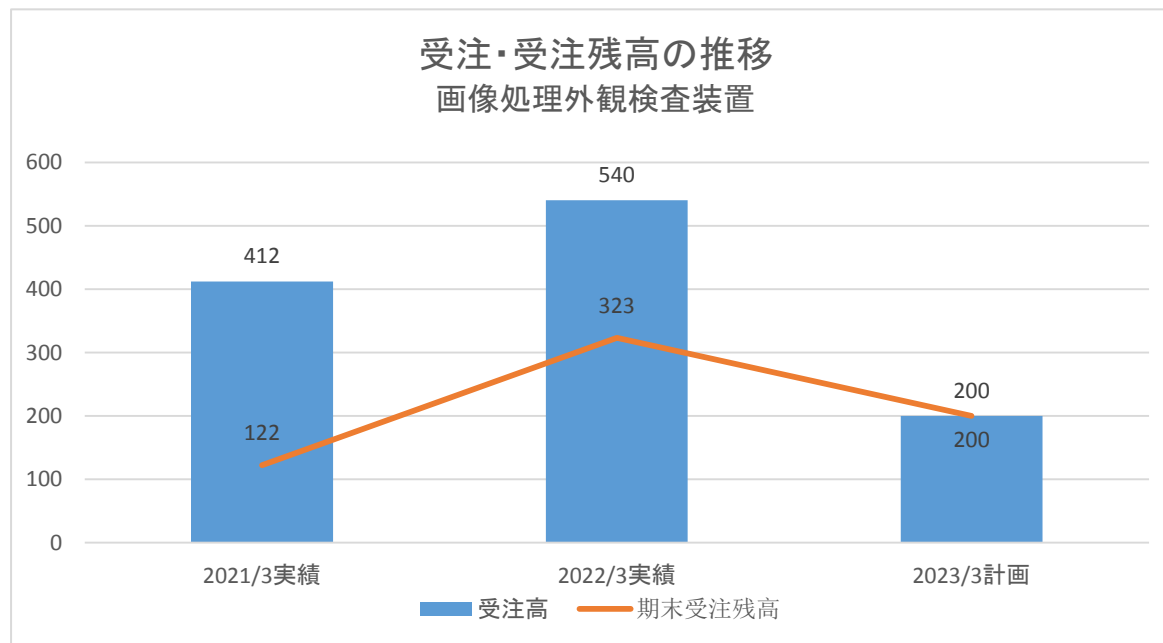
製品別売上高構成比

- ◎画像処理外観検査装置は、国内外向け装置出荷や改造工事に対応、販売を強化
- ◎3Dソリューションシステムは、3次元比較検証ソフトウェアなど新製品販売に注力
- ◎メディアネット機器は、公共関連の監視用機器が堅調



受注高・受注残高の推移

- ◎ 受注、受注残高は、依然低水準で推移
- ◎ 機能性フィルム、半導体向け検査装置等の拡販に注力



キャッシュ・フローの推移

- ◎ 当期は営業キャッシュが赤字の見通し
- ◎ 手元資金を活用し、収益性を改善し資金確保を図る

